

“宇宙を視座に大人が変わる 子どもが輝く 美しい星が生まれる”【子どもと宇宙と未来をつなぐ】

平成27年度の総会が開かれました

KU-MA 会長 平林 久

平成27年度総会が、6月15日に行われました。議長に稲葉茂さんを選出し、21人の出席、113の委任状をもって成立し、平成26年度事業報告および決算報告、また平成27年度事業計画と活動予算の4件の議案について審議され、了承されました。ただし、26年度決算報告の中の寄付金額の表現の記載ミスが小定弘和さんによって指摘されました。この修正はすでにメールでも届いておりますが、あらためて本KU-MAニュースでも、差し替え用に綴じ込みで添付しております。

昨年度は、体制、資金計画の健全化を目指しましたが、これは1年でどうなるというものではありません。今年度もこれを継続させます。事業の大きな柱である「宇宙の学校」は、深化、自立化を目指し、地域的な大きな穴を埋め、「大人の宇宙の学校」という新しい試みにも挑戦します。企業とのCSR活動もさらに開拓します。KU-MAの理念確認、活動の充実のため、セミナー、講演会等を実施し、ホームページ、メールマガジン、KU-MAニュースを生き生きと発信する。このような活動方針が確認されました。この総会をもって、今年度のフォーマルなスタートとも言えます。皆さん、ともにがんばろうではありませんか。全国的な組織であるKU-MAでは、総会出席が地域的に限られてしまいます。今回は東京、神奈川、千葉、栃木、長野からの参加でした。今後は、相互の「KU-MAの間」や発信情報なども駆使して、全国的なつながりを保ちましょう。



総会、懇談会、懇親会と続きましたが、おもしろいことに出席者数はほぼ一定でした。都合で帰られる方も、懇親会だけでも出ようという方も、さまざまにおられたのです。三つのセッションのどれも、有意義さでは優劣つけ難しかったと言えましょう。さらに元気な人々の流れは、2次会へと続いたのでした。次頁で、懇談会、懇親会の模様をご紹介します。

■お知らせ■

正会員 情報交換・交流「KU-MAの間」

ホームページ上に正会員交流サイト「KU-MAの間」を作りました。会員の皆さんの活動に役立てていただきたいと思います。宇宙教育に関係するご自分の活動を紹介したり、イベントの告知をしたり、ボランティアの募集をしたり…コラムを投稿していただいても結構です。是非ご利用ください。

一回に300字以内、一か月に3回まで投稿できます。写真やリンク先も掲載できます。その他、詳しいことは「KU-MAの間」のサイト <http://www.ku-ma.or.jp/ma/ma.php> でご確認ください。

KU-MAの間

ホームページ上での正会員のご紹介について

さらに、会員間の交流をスムーズにするために、会員の氏名をHP上に掲載することを検討中です。氏名以外の個人情報には載せず、「この人は自分が知っている人ではないか」、とわかる人にわかればよい程度の目的です。不掲載をご希望の方は全く掲載しません。運用のしかたについては秋の理事会での検討課題としますので、それまでにご意見があればお寄せください。

会員の中には、「知り合いになった方が、KU-MA会員だとわかった途端にグッと距離が縮まり、話がしやすくなった」という事例を話してくださる方もいます。KU-MA会員同士の交流の活性化、ひいてはKU-MAの活性化にもつながるよう考えています。みなさまからのご意見お待ちしております。

うちの「宇宙の学校」

グレーの地域が「宇宙の学校」開催地域（都道府県）です。
今回は愛知県小牧の「宇宙の学校」を紹介します！！



▲缶バッジ

小牧市「宇宙の学校」
校長 清水 豊

2008年秋、私が勤務する小牧中学校に教育部長さんの電話から、「宇宙の学校」とのご縁が始まりました。電話後すぐ初代監事の故佐橋克己さんが学校に訪れ、この年の春に立ち上がったばかりのKU-MA設立に伴う初代会長の的川泰宣先生の想いをうかがいました。あわせて、小牧市で「宇宙の学校」を始めたので協力してほしいとの依頼を受けました。

的川先生の想いは定年退職を2年半後にひかえ、退職後の社会教育活動を考えていた私の想いとマッチ。その場で、小牧市「宇宙の学校」を立ち上げることを佐橋さんにお伝えしました。

1週間後には佐橋さんが的川先生とともに来訪され、驚くとともに感激をしたことを覚えています。お話をうかがう中での的川先生のお人柄にひかれ、お役に立ちたいとの想いが強まりました。小牧市「宇宙の学校」を立ち上げるにしても私一人では何もできないので、まずはスタッフを集めることにしました。教員の同僚や先輩後輩で関心のあるような人、自然観察の仲間などに声をかけ10名ほどのスタッフが集まりました。さらに、佐橋さんのネットワークでKU-MA東海地区会員など加わり総勢で20名ほどが集まりました。

スタッフの目的が違ったところ
で、いよいよ小牧市「宇宙の学校」の基本構想づくりに取りかかりました。小牧市「宇宙の学校」がめざすものとして、的川先生の想いを根底に「子どもたちに“なぜ？”“どうして？”をもたせる学び心を育てる」「みんなで学び合心を育てる」「日常の中で学ぶ心を育てる」をねらいとして活動していくことに決定。具体的には、「理科工作」と「自然観察」の講座を基本とする。理科工作は購入できる身近な材料で行えるものを原則とし、指導は教員スタッフが中心となり、カリキュラムの選定や教材開発なども行うことに。自然観察は自然観察の友人の支援を受けることに。関係機関とのネットワークを活用し、無理のない程度にエクステンション講座を取り入れることも決定。

対象学年は小学校低学年の2〜3年生20名までとし、親子参加を原則としました。活動場所は私の勤務する小牧中学校で理科工作を、自然観察は市内の里山で行うことに決めました。エクステンション講座として、名古屋科学館でのプラネタリウム鑑賞と星空教室や大垣市教育委員会の協力により上石津緑の村を会場に化石レプリカ作り＆須城谷の地層・化石見学などを盛り込みました。



▲上石津での化石レプリカ作り

受講生の募集については、教育委員会生涯学習課のジュニアセミナーと一緒にやることにしました。その頃は正式な講座ではなかったのですが、活動にかかる経費はスタッフの自己負担に頼りました。事務局を任せした佐橋さんは、活動資金として寄付金やモリコロ基金などの助成金申請に努めました。そのお金で小牧市「宇宙の学校」の缶バッジを作成しました。受講生が継続して参加できるように翌年から1学年ずつ増やし、今では小学2〜3年生のファズコースと小学4〜6年生のファズメンタルコースとなりました。

「宇宙の学校」の依頼を受けてから約1年後の2009年10月31日、小牧市「宇宙の学校」が開校しました。開校の準備を万全にし、あとは当日をおこなうだけの2日前に私の体調に異変。かかりつけ医に行くと、なんと新型コロナウイルス感染症と判明。開校式の私が担当予定の第1回講座を、急遽第2回の講師とプログラムに変更して対応しました。

そんな思い出から今年度で7年目をむかえるお正月明けに、「宇宙の学校」の設立や事務局でお世話になってきた佐橋さんが急逝。あまりのも突然のお別れに言葉をなくしました。これまでお世話になった佐橋さんのご冥福を心からお祈り申し上げたいと思います、合掌。



▲初年度第2回講座「飛ぶたねのひみつ」



▲宇宙の学校開校に向けた会議

KU-MA の仲間たち

★★★総会後の懇談会と懇親会の模様をお届けします★★★

◆懇談会①講演「はやぶさ2」のミッションと最新情報について 15:00~15:45



▲的川先生による講師紹介の模様

◀「はやぶさ2」のミッションや最新情報についての講演

宇宙科学研究所(ISAS) 宇宙飛翔工学研究系 佐伯孝尚先生をお招きして「はやぶさ2の現況」について話していただきました。グループの当事者の話はたいへん聴きごたえがありました。

質問が続きましたが、最後の質問、小川三夫さんの「先生はおいくつですか」が、一座の気持ちを代弁していました。若いグループがのびのびといい研究活動をつづけているなと感じたからです。衛星運用で時間制約のあった佐伯さんには、お話と後の懇親会にと、2往復していただきました。

◆懇談会②みんなで「宇宙の学校」の教材を遊んでみよう！ 15:45~16:45

続いて、遠藤純夫副会長から、教材についての話題提供がありました。小さなロケット、コマなどなどの紹介がありました。

教材がどのようにして作成されているか、また実際に指導する際に役立つ情報として、宇宙飛行士による国際宇宙ステーション内での実験の動画なども紹介があり、実際に紙筒ロケットをみなさんと一緒に工作して飛ばしました。みなさん結構真剣に作って楽しんでいらっしゃいました！



▲遠藤副会長による「宇宙の学校」の教材紹介 理事や会員のみなさんと教材演習

写真右上：的川先生と秋山理事 右下：左から会員の入澤さん、小川理事、古川理事

◆懇親会 17:30~19:30



懇談会の後は、マイクロバスに乗り、懇親会の会場へ。今年度の会場は、会員管理担当の安藤さんのおすすめで「しゃぶしゃぶ食べ放題&飲み放題プラン」にしました。席はお楽しみということでくじ引きです♪ 平林会長の挨拶からスタートし、あっという間に楽しい時間が過ぎて、遠藤副会長のメの挨拶で終了。色々なお話にみなさん盛り上がっていらっしゃいました。来年の総会もたくさんのKU-MAの仲間たちにお会いできることを楽しみにしています。

■ 新刊案内

Newton 編集長の実験と工作 —動くもの、浮くものの不思議— (ニュートン別冊) Newton 編集長の実験と工作 —光や電気の本質— (ニュートン別冊)



科学雑誌 Newton で遠藤副会長と水谷理事が連載していた「編集長の宇宙工房」が別冊として発売されました。

さまざまな実験テーマが詰まっており、より科学的な観点で実験工作をお楽しみいただけます。

親子で実験工作をしてきずなを深めたり、夏休みの自由研究の題材にといろいろと活用いただける充実した内容です！！

ぜひ、KU-MA ホームページからお買い求めください。

定価：各税込 1,500 円

■ KU-MA 活動レポート

4 月～7 月活動報告

- ・5/19 27 年度第 1 回理事会 開催
- ・6/15 27 年度通常総会 開催

■ イベント事業

- ・5/9 相模原市若葉まつり出展
- ・6/6 岩手県奥州市佐倉河幼稚園「宇宙の教室」実施

■ CSR 支援事業

- ・MHI 本社より福島での理科授業支援

8 月～10 月活動予定

■ イベント事業

- ・8/2 伊勢丹相模原店 出展
- ・8/2 横浜市池辺地区社会福祉協議会子ども会行事「宇宙の教室」開催
- ・8/22.23 相模原ふるさと祭り出展
- ・10/1 町田市谷口小学校 PTA 行事

■ CSR 支援事業

- 8/6.7MHI 神戸造船所ものづくり教室
- 8/19.20CKD 株式会社モノづくり教室

■ 宇宙の学校事業 今年度ついに 10 万名突破か?!

4 月より 27 年度の開催がスタート！！昨年度は、学校数全国 51 校延べ 18,815 名が参加し、現在までの延べ参加者数は、83,799 名となりました。

今年度は、22 都道府県 55 校での開催を予定しています。

新規開校（予定）は以下の通りです！！

【東京都】 東大和市立郷土博物館

町田市成瀬中央小学校 P-地さーくる

【神奈川県】 相模原市城山地区メイプル城山

茅ヶ崎市松林公民館

【愛媛県】 松山市コミュニティセンターこども館

【沖縄県】 西原中央公民館（沖縄県）

●Pレ開催予定

【沖縄県】 沖縄市



（黒 開催中 うすグレー未開催県）

■ KU-MA 人々

事務局ボランティア 会員 林 広子



こんにちは。私は、KU-MA の事務所で教材の下準備（ほぼ手作りで、ここから既に工作）、発送の用意（数量をそろえて梱包）、をお手伝いしている、もうすぐ還暦の主婦です。

KU-MA の友好団体である「日本宇宙少年団」に息子たちが入団、一緒に夫も活動に参加し、宇宙教育に出会えたことがきっかけで KU-MA のお手伝いをするようになりました。息子たちは社会人となり活動から離れましたが、親が二人とも理科にはまってしまいました。そして私はいつの間にか KU-MA の部屋の前に。。。。

本を読み理科を勉強するのは、なかなか大変ですが、教材の準備をしながら子どもたちの反応を思い浮かべるのはとても楽しいですよ。時々、作業台の上に「これはナニ？」。。。教材の試作品をお持ちになり盛り上がる先生方のお話はとても興味深く楽しみです。これからも、どうぞよろしくお願いします。みなさん、一度いらっしやいませんか？

★事務局よりお知らせ★ 新企画 おとなの宇宙の学校！！

最先端の宇宙開発や宇宙科学を分かりやすい視点で解説する講演と実験工作を組み合わせた おとなの「宇宙の学校」

ただいま企画中！！かなり煮詰まってきました～詳細が決まりましたら、メールマガジン等でお知らせいたします！！

■ 会員状況(7 月 7 日現在)

正会員 297 個人：272 企業・団体：25

賛助会員 57 個人：38 企業・団体：19

みなさまの会費や寄付金が運営費の一部となり活動を展開させていただいています。日頃の支援に心より感謝を申し上げますとともに、引き続き活動資金へのご協力をお願いいたします。ともに活動する仲間を増やし、豊かな未来を次世代へ

■ 会員募集中！！

◇正会員：KU-MA のミッションに賛同し、活動を推進する個人/法人・団体

年会費 個人：10,000 円(学生 5,000 円)、法人・団体：50,000 円

◇賛助会員：KU-MA のミッションに賛同し、寄付いただける個人と法人・団体

年会費 個人：1 口 1,000 円、法人・団体：1 口 50,000 円

※個人賛助会員への会員証、メールマガジンの送付は 5 口以上からです。

■ 会費や寄付金のお振込先

【会費や寄付金のお振込先は下記の口座へ】

横浜銀行 刈野辺支店 普通預金 1768456

特定非営利活動法人子ども・宇宙・未来の会

会長 平林久

認定NPO法人 子ども・宇宙・未来の会 「宇宙の学校」事務局

〒252-5210 神奈川県相模原市中央区由野台 3-1-1 JAXA 内

電話・FAX：042-750-2690

E-mail：KU-MAs@ku-ma.or.jp

ホームページ：http://www.ku-ma.or.jp

「宇宙の学校」は、JAXA 宇宙教育センターと当会の協働事業です

今あなたができる未来のこと
子どもたちの未来を拓くキーパーソンはあなたです